

第12期 (2021年度) メンバー募集のご案内

# 環境マネジメント交流会議

～環境保全を通じた「サステナブルな社会」の実現と「経営」への貢献策を探求する交流討議～

原則として13:00～17:00 全9回

**第1回例会 2021年7月16日(金) 東京都内会場とオンライン併用を予定**

テーマ：**ダイキン工業の「環境ビジョン2050」と環境取り組み ～カーボンニュートラルを目指して～**

ゲスト：ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 室長 **藤本 悟** 氏

- SDGsとダイキンの“パーパス” ●リスクと機会 ●環境ビジョン2050 ●具体的取り組み



- 13:00～14:30/全体会：
- 14:40～15:30/オリエンテーション  
先期第11期の活動紹介・  
分科会の進め方 など
- 15:40～17:00/仮分科会

略  
歴

●1977年ダイキン工業入社、研究所に配属。空調機開発、リアモーターカー用極低温冷凍システムの開発などに従事後、技術企画担当部長。●2000年(株)つくば研究所の社長。生態系の研究、バイオ系ベンチャー設立などに係る。●2007年ダイキン工業本社のCSR・地球環境センターの室長に就任。現在に至る。環境経営や省エネ・フロン戦略に係る。●現在のタイトル ダイキン工業株式会社 CSR地球環境センター 役員待遇 室長

**第2回例会 8月20日(金) ■13:00～14:30/全体会 ■14:40～17:00/分科会**

テーマ：**日本のグリーン成長戦略とその課題について (仮題)**

ゲスト：自然エネルギー財団 シニアマネージャー **石田 雅也** 氏



略  
歴

2017年から現職。2012年から2017年まで電力・エネルギー専門メディアの「スマートジャパン」をエグゼクティブプロデューサーとして運営、日本各地の自然エネルギーの導入事例や電力市場の最新動向に関して多数の記事を執筆。日経BPで「日経コンピュータ」編集長や初代ニューヨーク支局長を務め、その他数々の技術情報メディアとインターネットビジネスの立ち上げにかかわる。東京工業大学工学部卒、同大学院情報工学専攻修士課程修了。自然エネルギー財団では、企業・地域における自然エネルギーの利用拡大に向けた提言取りまとめや情報発信を担う。「自然エネルギーユーザー企業ネットワーク」(英文名称: Renewable Energy Users Network、略称: RE-Users)、地域の自然エネルギーの電力利用を促進する「RE-Users地域連携プロジェクト」を主導する。日本の各地域で自然エネルギー導入の動きや事例を独自に取材し紹介する連載コラム「自然エネルギー活用レポート」や、企業の自然エネルギー導入推進の動きを紹介する「先進企業の自然エネルギー利用計画」シリーズの執筆を担当する。

**第3回例会 9月17日(金) ■13:00～14:30/全体会 ■14:40～17:00/分科会**

テーマ：**横河電機のパーパス経営 ～SDGsを如何にビジネスで活用するか～ (仮題)**

ゲスト：横河電機株式会社 チーフサステナビリティ・オフィサー **黒須 聡** 氏



略  
歴

「海外ビジネス、マーケティング、事業企画、開発、経営に関わる。欧州、東南アジアに駐在。●2017年、取締役専務執行役員の際にWBCSD (World Business Council for Sustainable Development:持続可能な開発のための世界経済人会議) のカOUNCILメンバーとなる。●2019年よりチーフ・サステナビリティ・オフィサー (CSO) を務め、サステナビリティを起点としたビジネス開拓 (産業及び宇宙) を行い、社内大学Yokogawa University of the Futureとして後進の指導にもあたる。」

**第4回例会 10月15日(金) ■13:00～14:30/全体会 ■14:40～17:00/分科会**

テーマ：**2020年CDP Aリスト企業の傾向と特徴/ネットゼロへ向かう世界**

ゲスト：CDPジャパン シニアマネージャー **松川 恵美** 氏



略  
歴

大学卒業後富士通入社、海外財務担当。同社退職後、外資コンサルティング会社パートナー及びオリバーワイマングループで、金融とITに関する調査・コンサルティングに従事。2011年11月(株)グリッド&ファイナンス・アドバイザーズ設立、2017年より代表取締役社長。クリーンテック、ESG投資、サステナビリティ戦略に関わるコンサルティングを、機関投資家および企業向けに提供。2013年～14年GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人)「スチュワードシップ責任及びESG投資のあり方についての調査研究業務」プリンシパル・コンサルタントとして参加。2017年10月環境省「環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドライン改定に関する検討会」委員。2019年12月(一社)コレクティブ・アクション設立、代表理事 現職、(株)プロネクサス外部顧問 現職、2020年2月国際環境 NGO CDP Worldwide シニア・マネージャー 兼任 現職

**第5回例会 11月19日(金) ■13:00～14:30/全体会 ■14:40～17:00/分科会**

テーマ：**GREEN CHALLENGE2050 セブン&アイが取り組む環境負荷軽減への活動 (仮題)**

株式会社セブン&アイホールディングス 執行役員 経営推進本部 サステナビリティ推進部 シニアオフィサー **釣流 まゆみ** 氏



略  
歴

セブン&アイ・ホールディングス 執行役員 経営推進本部 サステナビリティ推進部 シニアオフィサー 西武百貨店に入社し、その後、販売促進、営業部門で店長業務などに携わり、2019年より現職。グループ環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」の達成を推進中。

現在、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。これまでも地球規模での気候変動、温暖化などへの対応に関心が向けられる中、世界中の企業でサステナビリティ：持続的成長に向け「地球環境を考慮した経営」が重視されてきました。

グリーン社会実現に向け、今後もより積極的な温暖化対策活動が求められます。こうした動きに呼応し、各企業は達成すべき環境目標を掲げ、調達・生産活動における資源の再利用と再生可能エネルギーの積極的活用、CO<sub>2</sub>削減、廃棄物ゼロへの取り組み、サプライチェーン全般における様々な環境負荷低減策を日々弛まなく実践しておりますが、更なる進化・深化にむけては、業種を超えた企業間での知見交流と協調・連携が必要と言えます。

本交流会議は、直面する環境マネジメントの問題・課題を異業種企業の環境部門の皆様が、各業種・各社・各位の視点からの知見交流・ケース交換の討議を通じて課題発見・課題解決への気付きと活力を共有していただくことを目的に開設され2021年にて第12期を迎えます。

これまでの活動成果を踏まえ、本交流会議の活動趣旨：「環境保全を通じた社会の持続的成長と経営への貢献策の共同考察」にご賛同いただける熱意ある環境マネジメント部門各位のご参加をお待ちしております

ご関心をお持ちの方は、期を通して途中からでもご参加いただけますので、下記担当までお気軽にお問い合わせください。無料の体験参加もできます。(要予約)

1. 異業種交流を深めることにより業種・業界の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、社外のネットワークを広げパーソナルバリューの向上が図れます。
2. 環境経営の新しい流れや考え方、実践手法について、研究者・先進企業の事例研究により最新の情報を収集できます。
3. 単なる情報交換だけでなく、その背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、必要に応じメンバー企業間の資料交換も行います。
4. フォーマル活動に加えインフォーマル活動を随時行うことで、信頼関係による“ここだけの話”的なディスカッションが可能となります。

本社、事業所、工場において環境マネジメントを通じて企業経営に資する意志と問題意識を持ち、研究交流討議、相互啓発に積極的なご参画をいただける皆さま。

## 第6回以降の日程

第12期 環境マネジメント交流会議



検索



## 第12期での主要研究交流「分科会」テーマ案と視点例示

### ■自社のカーボンニュートラル

- 国際的なカーボンニュートラル動向
- 日本政府のカーボンニュートラルに向けた動き
- 自社の GHG データ解析 CN 定義及びバウンダリー決定

### ■カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ作成

- カーボンニュートラル施策の洗い出し
- 施策のインパクト評価
- 施策選定及び戦略策定

### ■TCFD ～環境部門としての取り組み～

- TCFD への対応の進め方
- TCFD の実践
- TCFD での開示
- 外部シナリオ情報の活用（シナリオ分析の進め方）

### ■水資源リスク

- 水関連の物理的リスク
- 水リスクの財務インパクト評価
- 循環型社会、サーキュラーエコノミーの将来

### ■IPBES（生物多様性）と企業としての環境施策

- 生物多様性で今後目指すべき方向性
- 企業が取り組む生物多様性とは
- 自然関連財務開示タスクフォース（TNFD）への対応

### ■廃プラスチック問題 ～海洋プラスチック問題を含む～

- 非化石原料由来プラスチック材の利用拡大施策
- プラスチック資源循環戦略

### ■SBT 新基準（1.5℃基準）への対応

- 1.5℃目標に向けた企業の取り組み
- 目標設定（スコープ 1, 2, 3）検討
- 日本の（世界の）再エネ導入予測  
～水素や蓄電池技術～
- 環境価値取引（クレジット・証書など）

### ■循環型社会、サーキュラーエコノミーの将来

- リサイクル原材料の利用拡大施策
- 自社素材・製品廃棄時のリサイクル化促進施策
- 循環型社会構築に向けた自社の取組と社会への期待

### ■コロナ禍での企業の環境活動

- 環境側面における影響評価
- With コロナにおける環境活動の進め方

## 幹事／研究協力委員一覧

●AGC株式会社	環境安全品質本部環境安全部環境チームリーダー	宮崎 俊幸氏
●三井化学株式会社	ESG推進室 気候変動・プラスチック戦略グループ 主席部員	高野 安広氏
●アズビル株式会社	環境推進部 環境価値創造グループ マネージャー	永山 綾子氏

## 前期メンバー企業（+ご所属）

先期：第11期のご参加企業：19社34名：本社・事業所の環境経営推進・環境安全管理部門などの部課長及びスタッフの方々

- AGC株式会社 環境安全品質本部
- 三井化学株式会社 ESG推進室
- NTTコミュニケーションズ(株) 総務部 CSR・環境保護推進室
- アズビル株式会社 環境推進部 環境価値創造グループ
- 富士ゼロックス株式会社 総務部 環境経営グループ 環境経営推進チーム
- オリンパス株式会社 環境推進部 環境1・2Gグループ
- YKK株式会社 黒部事業所 環境・安全グループ 環境・安全企画チーム
- 株式会社カネカ 信頼の生産力センター 品質・地球環境センター 環境グループ
- 日本たばこ産業株式会社 サステナビリティマネジメント部 環境チーム
- 株式会社 竹中工務店 CSR推進部
- 理想科学工業株式会社 環境活動推進部
- バナソニック株式会社 品質・環境本部
- ライフソリューション社 品質・環境部 環境推進課
- 東京ガス株式会社 サステナビリティ推進部 環境管理グループ
- 大日本印刷株式会社 CSR・環境部 ビジネス企画推進グループ
- 株式会社ノーリツ コーポレートコミュニケーション部
- 旭化成株式会社 サステナビリティ推進部
- 八千代エンジニアリング株式会社 事業開発本部 第一開発室
- テルモ株式会社 環境推進室
- 日本ユニシス株式会社 財務部 IR サステナビリティ推進室
- 株式会社フジシール 品質保証・環境推進部

## 全体会について第11期メンバーの声

- インターナルカーボンプライシングは勉強したい内容だったので発表が大変参考になりました。
- 関係団体からの意見を聞けるのはとても良い機会でした。
- セミナー・分科会ともリモートでありながら十分に対応していただき、納得のできる内容だった。セミナー内容も勉強になる良い機会でした。
- CDPやWWFなど、直接最新の情報を聞く良い機会となり、弊社へのCO<sub>2</sub>関連の施策の落とし込み参考にしました。
- 先進企業の実務者を中心とした人選で自社の活動への示唆や課題の発見につながる内容のものが多く、有用度の高いものでした。
- 毎回ゲストのプレゼンテーションは、大変興味深い内容が多く、大変参考になりました。

## 分科会活動について第11期メンバーの声

- メンバーとの情報交換ができてとても参考になりました。
- SDGsについて優良企業の事例に多数ふれることができ良かったです。皆さん活動を着実に進められており、刺激になりました。
- メンバー間で、分科会のテーマ以外についても活発な意見交換ができた。
- TCFDのテーマについて深掘りができた。
- 資料の共有についてはオンラインはやりやすい。情報もその場ですぐ検索できる。
- インターナルカーボンプライシングは新しい取り組みのため、世の中にあまり情報が出回っていませんでしたが、分科会活動により理解が深まりました。
- 分科会メンバー企業間で、scope3を算定する上での課題等、状況を確認し合えたことが、大変参考になりました。
- 社内におけるTCFDの推進に役立った。
- 自社のTCFD賛同表明の時期と重なったため、情報交換の場としてとても有意義でした。
- 分科会の皆さんとディスカッションできたことは非常に有意義でした。

## 参加要領

【事業コード：210121】

■参加費（消費税込）下記ご参加費で1社より2名様のご参加が可能です

正会員	220,000円 (本体200,000円)	一般	242,000円 (本体220,000円)
-----	--------------------------	----	--------------------------

- ※上記料金は資料代・通信費・消費税10%などを含んでおります。
- ※合宿研究会参加費は別途となりますが、今期は開催未定です。
- ※参加費の分割お支払いも可能です。ご請求品目等についてなどお気軽にご相談ください。

■オンラインツールは原則zoomを使用致します。

■申込方法

環境マネジメント交流会議  検索

- (1)研究会のウェブサイトで、(2)ページ内の申込フォームからメールで河野宛に以下を送信ください。

- ①貴社名 ②所在地 ③ご所属・お役職 ④お名前  
⑤TEL ⑥メールアドレス ⑦正式申込または体験参加のご意向

- ※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、第1回例会のご案内と分科会編成用「アンケートフォーム」をメール送信いたします。ご記入後の返信をお願いいたします。

■体験参加

第1回例会（7/16）は、正式参加をご検討中の方にフォーラムの雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。要：事前予約。

- ※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環としてご案内しております。体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加費を申し受けます。

■お問合せ、お申込先

一般社団法人 **企業研究会** 第3事業グループ

担当／河野：E-mail：kono@bri.or.jp  
TEL：080-2340-0118（河野直通）  
早瀬：E-mail：hayakan@bri.or.jp  
TEL：080-1393-5598（早瀬直通）

5月より移転

〒110-0015 台東区東上野1丁目13-7 ハナブサビル  
TEL:03-5834-3920（代表）